



学校通信

ほのゝ 朴の花

NO. 11
R2.1. 31

知内町立湯ノ里小学校

知内町字湯ノ里一五六の六一

電話 6-2011
ファックス 6-2780

湯ノ里小学校
は、地域と
もに歩みます

重点教育目標「主体的に学び自信と意欲あふれる湯ノ里の子ども」

「有終の美を飾る三学期」

校長 ●●●

私がこれまで生きてきた中で、記憶を辿ってみても、年が明けてからこれほどまでに積雪がないことは一度たりとも無かったように思います。雪かきをしなくてすむ分は楽ですが、何とも冬らしくありません。

さて、子どもたちはというと、冬休みが終わり一月二十一日(火)の三学期始業式には、ほとんどの児童が元気な顔を見せてくれました。その表情からはどの子にとっても充実した冬休みだったことが窺われました。

終業式の際、学校通信の前号でも触れました「一年の計は元旦にあり」について子どもたちにもお話ししました。が、始業式の際に「今年一年の目標を決めましたか」との問いかけには、みんなの前で遠慮したのか、反応が乏しかったのが少々残念な気がしました。

三学期は、今年度一年間を締めくくると大きな区切りとなる学期です。今年度のスタートの際に立てた目標を再確認したり、新たな目標を設定したりするなどして着実に取り組み、一年の終りには、児童全員が「有終の美」を飾ってほしいと願っています。「何を頑張るのか」、「それが「目標」ですから、「目標」がないと頑張れなかつたり踏ん張りがきかなかつたりするので、改めて児童の皆さんに尋ねてみようと思います。「目標は決まりましたか?」と。目指すのはそれぞれの「有終の美」です。皆様のご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

楽しく租税教室

十二月十一日(水)、高学年の授業の一環として租税教室が行われました。老若男女を問わず徴収されている税金に「消費税」があります。国や地方の生活基盤には「税金」が充当されていることなど、私たちの身近にある制度だと思えます。したがって、社会生活を営む者にとっては納税者としての知識や意識は欠かせません。

今回の租税教室では「税金の制度」や「税金の種類」、「税金の使い道」などについて、子どもたちにもわかりやすく説明をしていただき、クイズも盛り込まれていて楽しく学ぶことができました。

学習サポート実施

冬休み初日の十二月二十七日(金)、本校児童を対象に学習サポートを行いました。今回のサポート回数は暦の関係で一回だけでしたが、多くの児童が課題を持ち寄り、黙々と取り組んでいました。子どもたちは、わからないところがあると先生に聞いたり、先生に間違いを指摘されてやり直したりと、着実に課題の取組を進めていました。中には、「冬休みの宿題、もう終わっちゃうんじゃないの」などと声をかけられている児童もいるなど、集中して取り組んでいます。

外国語活動のようす

保護者・地域の皆様もすでにご存じのことと思いますが、本校では、中・高学年において「外国語」の授業を実施しています。毎週、水・木曜日に●先生と●先生に来校していただき、担任の先生とともに授業を行っています。●先生と●先生に来校していただき、担任の先生とともに授業を行っています。●先生と●先生に来校していただき、担任の先生とともに授業を行っています。

感染症予防のために

今年度、知内町内においては十二月中旬にインフルエンザの流行がピークとなり、町内の小中学校では、学級・学年閉鎖となった学校もありました。幸い本校では蔓延することなく冬休みに入りましたが、まだまだ油断はできません。不要不急の外出を避け、やむなく人混みに入るときはマスクを着用し、外出から戻った際は、玄関に入る前に顔のほこりを払い、手洗い・うがい、顔まで洗うと予防効果が高いようです。

ひまわりの種クイズ

十二月二十六日(木)に行われた終業式終了後に、低学年(二年生)が実施した「ひまわりの種クイズ」の結果を発表しました。このクイズは、学級花壇で育てたひまわりの種をかたまりのまま収穫し、教室前廊下のホールに展示し、パッと見た感じで「種の数は何個あるか」を当てるといいうものでした。全校児童と教職員がクイズに応募しましたが、その結果が発表されました。奇跡的な「ピタリ賞」はありませんでしたが、●年生の●●●さんが数個違いの「ニアピン賞」を受賞し、見事に優勝しました。

【二月の行事予定】

- 四日(火) スキー授業③
- 五日(水) 全校朝会
- 六日(木) なわとび大会
- 七日(金) クラブ⑧
- 十日(月) 新一年生体験入学
- 十一日(火) 建国記念の日
- 十二日(水) スキー授業予備日
- 十三日(木) 見守り隊感謝の会
- 十五日(土) スキー遠足
- 十七日(月) 振替休業日
- 二十日(木) さよなら集会
- 二十一日(金) 児童会選挙
- 二十三日(日) 天皇誕生日
- 二十四日(月) 振替休日
- 二十五日(火) SAQ⑩
- 二十八日(金) 授業参観④・全体懇談・学級懇談

重点教育目標「主体的に学び自信と意欲あふれる湯ノ里の子ども」



湯ノ里ゆめ学園だより

NO. 11
R2.1.31

知内町立湯ノ里小学校
知内町立湯ノ里保育所

小学校電話
6-2011
保育所電話
6-2002

湯ノ里小学校
は、地域と
もに歩みます

冬季避難訓練実施

一月二十七日(月)、湯ノ里保育所と
合同の避難訓練が実施されました。

今回は地震による校舎の損壊を想定し、揺れが収まってから屋外へ速やかに避難するというものでした。避難場所への避難が緊急放送で指示されてから、児童及び園児の避難行動が完了するまでの所要時間は「一分四十六秒」でした。また、行動中はおしゃべりする声も一切聞こえず、見事な「合格」でした。

学校や保育所にいるときは身近に先生がいますので、まずは「落ち着いて先生の指示を聞く」、そして、「落ち着いて行動する」を徹底することが大切であり、ほほできていると思います。しかし、訓練によって身につけたい大切な力は、いざという時に、それこそ自分一人しかない状況でも「自分の命を守る行動」を取れる力だと考えています。

近年の震災を思い起こすと、まだ記憶に新しい「東日本大震災」は平成二十三年三月十一日、「阪神・淡路大震災」は平成七年一月十七日に発生しています。いずれも冬季に発生し、幸いにも命拾いをした被災者の方々は、避難所での寒さや狭さ、不向き、衛生面にとっても苦労したようです。

「その時」への備えについて、ご家庭においても話し合い、避難場所や連絡方法、緊急時の持ち出し品などについて、日頃から確認しておくことが大切だと思います。

スキー授業開始？

冬休み明けの一月二十二日(水)から今シーズンのスキー授業が予定されていますが、近年稀に見る雪不足により、第一回目と第二回目のスキー授業は残念ながら中止となってしまいました。

昨年末には、町内スキー場がリフトの不具合により今シーズンのクローズが決まったため、木古内町ふるさと森スキー場に変更して実施を予定していましたが、雪不足は全国的にこの地域でも深刻なようで、雪を必要とする冬のイベントは、各地で軒並み中止となっているようです。本校の子どもたちもスキー授業を楽しみにしているため、今後の(適度な)降雪に期待したいところです。

今後の予定として、第三回目のスキー授業を二月四日(火)に予定しており、二月十五日(土)には、七飯スノーパークでのスキー遠足を予定しています。

食育「べこ餅」作り

一月二十八日(火)、食育事業を行いました。この事業は、子どもたちに「食」への関心をもたせることを目的として行っており、今回は地元食材(米粉)を活用したべこ餅作りを行いました。

保育所の●●所長さんから「べこ餅」の話をしていただき、後で、●●栄養士さんから作り方を教わりながら、楽しく、一生懸命に取り組みました。

冬季も体力づくり

冬期間は、寒さや積雪のため、屋外で遊ぶなどの運動する機会が減るため、北国の子どもたちの体力は、全国と比較すると低い傾向があると言われています。

本校では、これまでに紙面で紹介したとおり、町教委社会教育課の協力で、毎月一回のペースでSAQを実施し、遊びやゲーム感覚で楽しく体を動かすことで体力・運動能力の向上を図っています。また、現在は、二月六日(木)に予定されている「縄跳び大会」に向けて、中休みの時間を利用した練習が体育館にて行われており、子どもたちは「一回でも多く跳べるように」と一生懸命に取り組んでいます。

今年度実施した「全国体力・運動能力調査」の結果が明らかになりましたが、調査対象である五年生を含めた全児童の体力・運動能力は全体的に優れていると言えます。が、あえて課題を挙げれば、「持久力」であると言えます。「敏捷性」や「柔軟性」ももう少し高めたいところですが、今の取組を継続することで確実に高められると考えています。家庭でもできる運動は、是非、取り組んでほしいと思います。

自由研究発表会

一月三十日(木)、冬休み中に取り組んだ自由研究の成果を発表する「自由研究発表会」が行われました。

夏休み後の発表会も力作揃いで見応えのあるものでしたが、今回はさらにレベルアップした作品が多数見られました。中でも、プログラミングの学習成果を生かし、試行錯誤を繰り返しながら自分一人でオリジナルのTVゲームを作り上げた児童がいたり、一枚の板を寸分狂わぬ作業で切り分け、正確に組み立てて本棚を作り上げるなど、苦勞を重ねて完成したことがよくわかる作品が多かったです。

発表会の終わりの講評で、かの有名な「トーマス・エジソン」の話が聞かれましたが、エジソンは白熱電球を完成させるまでに二万回以上の失敗を繰り返したそうです。ここで大切なのは、失敗を繰り返すごとに「進歩」したという事です。失敗から学び、進歩はするけど、また失敗し、また学んで進歩することの連続だったようです。まさに「失敗は成功の基」ですね。